

# あしたば

令和7年8月12日発行  
現在会員数 245名  
男性 131名  
女性 114名  
(R7. 7. 31現在)

題字：雨宮博雄

編集・発行 公益社団法人八丈町シルバー人材センター

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2  
TEL. 04996-2-4666 FAX. 04996-2-5355  
URL. <https://www.sjc.ne.jp/hachijo/>

E-mail [hachijo@sjc.ne.jp](mailto:hachijo@sjc.ne.jp)

## 《就任挨拶》

会長 小宮山 進



先の定時総会及び理事会において、代表理事（会長）を仰せつかりました小宮山進でございます。就任にあたりご挨拶申し上げます。

八丈町シルバー人材センターの約250人の会員の方々が自主・主体的運営、共働・共助の精神のもとに社会参加することで、会員の皆様の生きがい及び心と体の健康に結びつき、引いては、八丈町の振興に貢献できるよう微力ながら努めてまいります。

事務局職員とともに、八丈町ならではの地域特性のある就業機会の確保と安全で適性な就業を図りながら、会員の皆様のご要望にできる限りお応えできるよう世話役の長として、取り組んでまいります。

会員の皆様のご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



## 《退任挨拶》

前会長 伊藤 宏



例年になく早い梅雨明けで、暑さと水不足が心配される今日この頃でございますが、会員の皆さまにおかれましては恙なくお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、去る6月24日の「令和7年度定時社員総会」をもちまして会長の職を退任いたしました。在任中には世界的な感染症の流行という歴史的な事件を経験し、会員の皆様とともに就業機会の確保に心を悩ませたことが思い出されます。幸い、発注者様のご理解により影響を最少で食い止めることができ、現在ではコロナ禍以前を超えるところまで回復できましたことは、事務局はじめ関係者のご尽力の賜物と感謝いたしております。

任期中は、就業環境の改善を心にかけてまいりましたが、いまだ途半ばと申し上げるほかありません。「フリーランス法」の発効に伴う「適正就業」の厳正化とデジタル化の進展は避けて通れない課題であります。少子高齢化が進み、働き手が減少するなか、シルバー人材センターに寄せられる期待はいっそう大きくなっています。小宮山進新会長を中心に、「共働・共助」の精神を大切に、これからも地域社会に貢献してまいりましょう。

## 「役員の方からひと言いただきました」

**代表理事 副会長 浅沼 功**  
 今回副会長という役職になりましたが大変かな？夏となり暑い日がきますが、もう年も年なので熱中症にならないように、ほどほどにがんばりたいと思います。これからも宜しくお願ひします。

**理事 奥山 妙子**  
 理事としてお手伝いする事になりました。至らぬところが多々あると思いますが皆様のお力添えをいただきながら2年間お手伝いさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

**理事 佐々木 秀武**  
 この度、理事の仲間入りをさせて頂く事になりました。何をすべきか一切わからない状況ですが、今後勉強して行きたいと思ひていますのでよろしくお願ひします。

**監事 玉置 定子**  
 改選により監事を務めさせて頂きます。働く仲間と良い関係を築きながら仕事をする事により事故など防げると、私は考えます。健康に気をつけながら元気で働かせていただきますので、よろしくお願ひ致します。

**理事 高橋 基秀**  
 あらためて2年間よろしくお願ひします。私たち会員の就業にあたり「安心・安全」を基本に「楽しい・充実している」と思えるシルバーになったらと考えています。

**理事 西濱 敏子**  
 この度理事に就任することになりました西濱敏子です。先輩ならびに皆様方のご協力を頂きながら、微力ですがシルバーの業務が良くなる様努力する所存です。宜しくお願ひ致します。

**外部理事 (八丈町福祉健康課長) 菅原宏幸**  
 基本理念である「一人ひとりが豊かな経験と知識を活かし、お互い協力し合いながら就業」をしていただき、町としても様々な雇用支援の施策を継続してまいりますので今後とも八丈町の発展と後継者育成のため、ご尽力いただきますようお願ひ申し上げます。

**監事 田代 保彦**  
 令和7年度も監事の役を受けることになりました。精一杯頑張ってまいりますのでよろしくお願ひいたします。

**理事会開催報告** 7月24日(木)午前10時から、八丈町役場大会議室において「第4回理事会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

## 1 承認事項

1)会員の入退会について  
 入会1名退会6名について承認



## 2 報告事項

1)令和7年5・6月の事業実績について  
 6月前年度比の増は、民間の除草等作業の受託件数増によることを報告

2)広報委員会について  
 5月21日開催の第1回広報委員会について報告

## 3)安全管理委員会について

5月28日開催の第1回安全管理委員会について報告

## 3 その他

## 1)ボランティア活動について

今年度の活動内容について継続検討

## 2)役員研修等(案)について

今後の案と参加済みの研修について説明

## 3)その他

- 第1回会長会議について報告
- 熱中症対策 ○カスタマーハラスメント対応

資料館のお宝(87)

## テニアン島で終戦 —村口一雄さんの場合—

1945年(昭和20)8月15日正午、昭和天皇が自ら太平洋戦争の終結を告げる「玉音放送」を聞いて、国民は戦争の終わりを知ることになりました。あれから80年、戦争の悲惨な体験を語り継ぐ人が年々少なくなり、「記憶の風化」が心配されています。

八丈島からたくさんの人が渡った南洋群島。1944年7月、テニアン島で自身が体験した終戦を語り遺した一人の出版人がいました。学術図書出版と古書販売の「第一書房」を東京・本郷の東大前で営んでいた村口一雄さんは、亡くなる直前の2013年夏、『週刊仏教タイムス』紙のインタビューに応じ、「一家自決寸前」から生還した自身の終戦体験を語りました。

\* \* \*

1942年(昭和17)6月日本軍はミッドウェー海戦に敗れると、「絶対国防圏」をマリアナ諸島に設定し、飛行場の整備など軍備増強に努めましたが、1944年(昭和19)6月11日、米軍機動部隊の空襲でサイパン・テニアン・グアム島の日本軍は大きな損害を受けました。米軍は15日サイパンに上陸を開始、日本軍は島の南側に追い詰められ7月7日に玉砕しました。米軍はつづいて南隣のテニアン島に襲いかかりました。

テニアン島は周囲約50<sup>キロ</sup>のサンゴ礁の島。戦前は約15,000人の日本人がサトウキビの生産や製糖工場などで働いていました。

村口一雄さんは、1934年(昭和9)年8月テニアン島の生まれ。ご両親は八丈島の出身で、サトウキビの栽培に励み、一雄さんの回想によれば、「家は千坪ぐらいあった。庭にはバナナ、パパイア、パイナップル、マンゴーがなっていた。パイナップルが熟してくると香りで分かる。『一雄、パイナップル採ってこい』と母親がいうわけ。優雅なものでした。鶏や牛、豚もいた。学校まで歩いて1時間ぐらいあったかな。」というのどかな生活がありました。

\* \* \*

そんな生活も米軍の上陸で一変しました。一雄さんは小学校高学年。「米軍が攻めてくると、住民は山に逃げた。けれども米軍は船からそこを集中攻撃した。親父が『あの山へ行っても死ぬからここ(ジャングル)で死のう』と。」

「親父が一升瓶にダイナマイトを入れて、一所懸命にマッチで火をつけようとした。きょうだいは6人いたが、小さいから事情がよく飲み込めていない。ところがね、母親が『絶対死ぬのは嫌だ』と泣きだした。『実の母親に一目会ってから死にたい』と。それで親父が思いとどまった。」

一家はジャングルの一本の木の下に固まっていた。そこに雨が降りそそいでいました。「マッチの火を消したのは雨だけではなかった。母親の強い願望が(一家自決を決意した)父親の心を動かした。今でもあれを思うと、ぞっとするね。おそらくは死にきれない、ビンの破片では。爆破してもみんなうめいてね。親父はそれで死ぬと思ったんだろうね。」

「今でも夜中に目を覚ますと自決の場面が思い出される。そのたびに“生きていることのありがたさ”を実感する。」

一雄さんは戦闘の様子を間近で見っていました。「空中で戦闘機が戦う姿。米兵が手榴弾を壕に投げ込んでいるところ。うわー、すごいなど単純に見てましたよ。」激しい戦闘の後、8月3日に日本軍は玉砕しました。島が占領され、入れられた収容所で、60人くらいいた同級生のうち生き残ったのは4人だったことを知りました。

\* \* \*

1946年3月神奈川県うらがの浦賀に到着、それから1カ月後に初めて八丈島の土を踏みました。

一雄さんは三原中学校を卒業後上京、刻苦して「第一書房」を経営するようになりました。八丈町や八丈高校の図書館にたくさんの本を寄贈し、また初代南極観測隊長を務めた地球物理学の永田武さんの八丈島民大学講座、比叡山宗教サミットを主催した天台座主山田恵諦さんの講演会を町内で実現しました。沖縄タイムスと提携して南島研究を奨励したことも忘れられません。

\* \* \*

「親父は70歳、母親は90歳で死んだ。自分は70歳を超えたけどね。もう少し若ければ、戦争に行っていたら、母親が声を上げなければ生きていなかったかもしれない。」と語った村口一雄さんは、2013年7月19日都内の病院で78年の波乱に富んだ人生を終えたのでした。伊藤 宏



令和7年度事業実績							
月	区分	受託 件数	就業延 日人員	契 約 金 額			
				配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
7 月	公共	43	1,603	9,413,035	430,261	848,882	10,692,178
	民間	24	181	1,034,244	43,560	105,321	1,183,125
	計	67	1,784	10,447,279	473,821	954,203	11,875,303
累 計	公共	167	6,170	36,776,819	2,216,454	3,397,546	42,390,819
	民間	81	623	3,529,747	135,080	355,342	4,020,169
	計	248	6,793	40,306,566	2,351,534	3,752,888	46,410,988

7月末会員数 245名 就業実人員 136名 就業率 55.5%

### 会員入退会状況(7月分)

入会者 よろしくお願ひします  
 男性1名  
 退会者 お疲れさまでした  
 男性1名 女性3名

\*就業相談のお知らせ\*(要予約)

日時 9月16日(火) 3時~5時  
 場所 八丈町役場第2会議室  
 申込 お電話ください ☎2-4666

上記の日時の場合は予約が必要  
 ですが、何かありましたら随時事務局  
 までご連絡ください。

### 八丈町SC安全就業標語

仲間の輪 ルールとマナー 大切に  
 無理しない 自問自答の 体調管理



事務局より 来月の配分金支払日は、**9月16日(火)**です。

システムの都合により11時以降の振込になります。

ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。



### ●手作り作品展のお知らせ



今年は11月18~20日に開催します。

長年または最近の趣味や特技を生かした作品を披露  
 しましょう!

会場は八丈町民ギャラリー(八丈町役場庁舎1階)です。  
 詳細は同封のチラシをご覧ください!